

## 小学校からの課題（まなちゃん）

藤坂龍司・飛田麻衣子

4才の時から私が毎月コンサルティングにお伺いしているまなちゃんというお子さんがいます。まなちゃんは自閉傾向と軽度の知的な遅れがあり、現在、小学校の特別支援学級に在籍しています。まなちゃんが小学校に入ってから3年間、私とお母さんが相談しながらまなちゃんに教えてきた課題をまとめてみました。まずは小学一年生の時の課題です。

### 小学一年（2009年4月～2010年3月）

幼稚園の時から継続中の課題を含みます。

#### <会話>

#### ○感想コメント

- ・〇〇ちゃんのおうち、火事になったんだって→「たいへんだあ」
- ・こんなに大きなケーキ、食べたことあるよ→「いいなあ」
- ・お父さんは〇〇と〇〇を両方食べたんだよ→「食べすぎー」
- ・パンを食べたら、おなかがいなくなっちゃった→「大丈夫？」

☆教えたもの：こわい、おいしい、大きいねえ、気持ちいい、すごい、あぶないね、きれい  
上手になったら、情報交換とミックスさせる。

・「しまじろう、道路に飛び出してたよ」「あぶないねえ」「お母さんは飛びだしたりしないよ」「真菜ちゃんも飛び出したりしないよ」

母より：自分ができないことを他人ができたら、「すごい」とコメントさせます。「すごい」と「すごくない」を対比させて教えます。

#### ○適切な質問を返す

- ・おでかけするからね。→どこ行くの？

#### ○事実と違うことを指摘する

- ・「きょうは雨降ってるね」→「違うよ。晴れてるよ」

#### ○二人の会話に加わる

#### ○会話の総合練習

情報交換＋適切な質問＋違うよ＋感想コメント

#### ○自己主張

#### <ことば>

#### ○受け身

「怒られた」「けられた」など。

#### ○概念

- ・すぐ
- ・しっかり
- ・もう

- ・まだ
- ・もっと
- ・～だけ

「〇〇だけ残して後はお皿に入れて」カップの中にビーズを入れて「赤だけすくって」

- ・～以外の
- ・やる気
- ・本気
- ・のんき
- ・元気
- ・余計
- ・ぴったり
- ・ずれてる
- ・あまる
- ・足りない
- ・きっちり
- ・都合が悪い
- ・さっさと／だらだら
- ・上の名前／下の名前
- ・きれいな字／汚い字

○「違う」の概念

- ・違う動物、果物を言う。
- ・違う絵を描く。
- ・違う動作をする。

○しりとり

ステップ1：「え」のつくもの言って。「えんぴつ」

ステップ2：紙に書いてしりとりをする

○反対ことば

○言い換えことば

○ことば遊び

- ・○で始まることば (→しりとり)
- ・○で終わることば
- ・仲間のことば

○これ・あれ・それ

遠くの物→「あれ取って」と言わせる。藤坂さんの近くの物→「それ取って」。まなちゃんの近くの物→「これ取って」。

上手になったら、「この・あの・その」などに応用する。

○物語の説明（～して～して）

人形を使って短いお話を見せる。どんな話だったか、説明させる。

- ・しまじろうがジュースをこぼして、ふきんを探して、ふいた。

○物語の説明（～から／～けど）

人形を使って。順接と逆接の使い分け

- ・バイキンマンがこけたから、泣いてる／バイキンマンがこけたけど、泣かなかった
- ・お菓飲んだからなおった／お菓飲んだけど、治りませんでした
- ・しまじろうがお風呂に入ってる、お母さんがお風呂あがりなさいと言ったから、あがった／しまじろうがお風呂に入ってる、お母さんがお風呂あがりなさいと言ったけど、あがらなかった

<知識・理解>

○どうする？

- ・お茶がこぼれたら→拭く
- ・ゴミが落ちていたら→そうじきをかける
- ・消しゴムを忘れた子がいたら→貸してあげる
- ・アンパンをお友達が欲しそうにしていたら→あげる
- ・絵本が一杯落ちていたら→片づける
- ・ピンポンってベルが鳴ったら→「はい」
- ・順番抜かししようとしたらどうする？→「うしろに並んで」って言う
- ・火事になったらどうする？→消防署に電話する
- ・スーパーで迷子になったら、どうする？→「おかあさん、どこー？」って聞く
- ・工事していて通れません。どうする？

○どうなる？

- ・ホットケーキを焼き過ぎたら→こげちゃう
- ・熱いお茶をほおっておくと→さめちゃう
- ・氷をほおっておくと→とけちゃう
- ・たまごをほおっておくと→くさっちゃう
- ・ぶかぶかのくつを履いたら、どうなる？
- ・授業中、ぺちゃくちゃおしゃべりしたらどうなる？

○違いの説明

○○と△△ってどこが違うの？

- ・太陽と月どこが違う？
- ・ラーメンと焼きそばどこが違う？
- ・長くつ／くつ
- ・お水／お湯

同じところと違うところの両方を言わせるようにする。

- ・ペンと鉛筆の同じところ／違うところ

○仲間を言う

- ・三角の仲間を言って→四角、丸
- ・おはしの仲間を言って→スプーン、フォーク、ナイフ

○物・人・場所の説明

- ・ズズのこと話して→ズズは女の子だよ。ズズは妹だよ。ズズはのんびり屋さんだよ。
- ・お年玉って何？
- ・ピクニックって？

・旅行って？

母より：知能と会話の訓練です。

○月ごとの行事

- ・ひなまつり
- ・どんぐり拾い

○スリーヒントクイズ（なぞなぞ）

○○で△△で□□なものなんだ。

上手になったら、ことば絵本などを見て、自分で問題を出す。

○知識

- ・お米は田んぼでつくる。
- ・犬はうれしいとき、しっぽを振る。

○時計の読み

<社会性>

○感情の推測

人形を使っていろんな状況を作って、「○○、どんな気持ちかな？」と聞く。あるいはことばだけで状況を説明して「どんな気持ち？」と聞く。

- ・お外で遊ばせん→「つままない」
- ・お友達がいなかった→「つままない」
- ・花ちゃんがいなくなった→「心配」
- ・ジュースのふたが開かない→「困ってる」
- ・さようなら→「さみしい」
- ・おもちゃが壊れちゃった→「かなしい」
- ・帰ってきたけどおやつがない→「がっかり」
- ・傘がない→「困ってる」
- ・ワンワンが終わった→「残念」
- ・おじいちゃん、おばあちゃんがお出かけ→「さみしい」
- ・遊びに行けない→「つままない」
- ・タオルがない→「困ってる」
- ・じゃんけんで負けた→「悔しい」
- ・パンツ見えてるよ→「はずかしい」
- ・おしっこもれちゃった→「はずかしい」
- ・まなちゃんの顔におひげが生えてきた→「おかしい」
- ・くいしんぼがフライパンを食べてる→「おかしい」
- ・しまじろうがオムツはいてる→「おかしい」
- ・しまじろうが、お母さんに怒られてる→「かわいそう」

☆教えた感情（□は5月の時点でまなちゃんが自分の感情として自発するようになったもの）

うれしい、かなしい、怒ってる、こわい、いたい、くやしい、つままない、心配、困ってる、さみしい、がっかり、はずかしい、おもしろい、つかれた、おなかがすいた、おかしい

（コメント：基本感情（うれしい、悲しい、怒ってる）より、その他の感情の方が自発しやすいこと

がわかる)

#### ○人に対する評価コメント

人形を使ったシュミレーションを見せて「どう？」と聞く。「いい子・悪い子」をさらに細分化して、いろんな評価概念を教える。

- ・りんごをあげない→「けち」
- ・おむすびを隠した→「けち」
- ・しまじろうがハンバーガーを一人占めにしてる→「けち」
- ・アンパンマンがスプーンを取ってくれた→「親切」
- ・「あめちゃんだよー」「あれ、あめちゃんじゃない」→「うそつき」
- ・「プリンじゃなきゃ、いやだあ」→「わがまま」
- ・一生懸命お掃除してる→「まじめ」
- ・おもちゃ箱をひっくり返す→「いたずらっこ」

☆教えた評価概念（□は5月の時点でまなちゃんが自発するようになったもの）

けち、親切、うそつき、やさしい、いじわる、まじめ、こわがり、おりこう、お行儀が悪い、ずるい、しつこい、おとなしい、いたずらっこ、おしゃべり

#### <想像力>

##### ○ストーリーを作る

人形を使って、簡単なストーリーを途中まで演じて見せ、まなちゃんにその続きを考えてもらう。

- ・二人が走ってきて、ぶつかりました→泣きました
- ・間違ってお酒を飲んでしまいました→おなかが痛くなった
- ・○○が寝ていたら、△△が走ってきて、乗っかりました→「いたいじゃないか」
- ・もれちゃう、もれちゃう。もれちゃった→泣いちゃった
- ・車が来て、ドーンとぶつかりました→病院に行きました
- ・アネムちゃんころんだ→「大丈夫？」

母より：最初は私の教えたストーリーを再現するだけだったので、途中から、違うお話を作ることを教えました。「違う」ということがよくわからなかったので、「違う色の花描いて」とか「違う動物言っ」て」という指示に従うことを教え、上手になってからそれを応用して、「わんちゃん、違うお話作ってね」といった指示を出すようにしました。

#### <遊び>

##### ○三人じゃんけん

##### ○ルールの理解

- ・トランプ（七ならべ）

母より：トランプは1種類（♡など）で七ならべができるようになったら、種類を増やしました。最初は床にカードを並べてよいことにして、上手になったら手に持たせました。

- ・すごろく

##### ○サイコロ

- ・投げ方
- ・目の数の理解（目の数だけお菓子がもらえるようにする）

<アカデミック>

○ひらがなの書き

- ・を／おの区別
- ・は／わの区別
- ・文章を書く

○カタカナの読み

- ・長音（カレ、カレー、カーレ、カーレー）

○カタカナの書き

- ・ひらかなとカタカナの使い分け

○文章を読む

- ・「それ・あれ・その」などの指示語が何を指しているか。

○漢字

- ・漢字の読み
- ・漢字の書き
- ・音読みと訓読みの区別
- ・文章の中で読めるようにする。

○字の概念

- ・字と絵の区別
- ・ひらかな／カタカナ／漢字の区別

○数の大小

- ・ランプを、数の大きい方から並び替える。例えば7と2と9

○足し算・引き算

- ・二桁と一桁の足し算
- ・二桁同士の足し算
- ・3つの数の足し算
- ・数の分解（5は4たす1）
- ・二桁と一桁の引き算
- ・二桁の引き算
- ・三桁の足し算・引き算

○お金の計算

- ・紙のお金や本物のお金を使って、いろんな金額を作る  
「70円です」
- ・ちょうどのお金がないときは、少し大きいお金を出す

○数直線の理解

- ・0から10までの数直線。0、5、10だけ数字を入れておいて、「6はどこ？」

○数列

- ・5飛び
- ・10飛び

○ピアノを弾く

- ・ 一本指で簡単な曲を弾く
- ・ 5本指で弾く
- ・ 両手で弾く
- ・ 音符の理解

<その他>

○自分で決める訓練

何でも「わかんない」というので。

- ・ 何作ろう
- ・ どの道に行く？
- ・ 何書こう